

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	女性医師支援センター事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	医事課		課長:田原克志		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-2 医療需要に見合った医療従事者を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	・平成23年3月29日医政発0329第4号「女性医師等勤務環境整備事業の実施について」 ・平成23年3月29日厚生労働省発医政0329第5号「平成23年度女性医師支援センター事業委託費の交付について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	臨床医に占める女性医師の割合は約15%、医師国家試験合格者に占める女性の割合は3分の1と近年女性医師数は急増している。一方、女性医師は出産や育児等のため離職したり労働時間が短くなる傾向にある。このため、本事業においては、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図りつつ、もって医師確保対策に資することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	・女性医師に関するデータベースをコンピュータに構築し、他方、医師の採用を希望する医療機関の情報収集を行い、就業希望条件が適合する女性医師に対して当該医療機関を紹介し、採用に至るまでの間の支援を行う。また、女性医師バンクの啓発普及並びに必要なに応じて実情把握調査を行う。 ・就業を希望する女性医師に対して最近における医療についての知識及び技術を修得させ、現場復帰を容易にするための講習、医師の採用を希望する医療機関に対する環境整備等に関する講習会及び若手女性医師・女子医学生を対象として女性医師のキャリア継続に関する講習会等の実施及び支援を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	168	156	150	163	163	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	168	156	150	163	163	
	執行額	168	156	150				
執行率(%)	100.0%	100.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	医療施設従事医師数(女性) 平成18年 45,222人 平成20年 49,113人(108.6%)		成果実績	人	-	53,002	-	前回調査以上
			達成度	%		107.9		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	就業成立件数		活動実績 (当初見込み)	件	67	49	52	- (-)(-)
単位当たりコスト	2.88(百円/就業成立1件あたり)		算出根拠	平成23年度執行額/平成23年度就業成立件数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	女性医師バンク事業経費	110	110					
	再就業講習会経費	53	53					
	計	163	163					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・年々、女性医師の割合が増えている状況の中で女性医師が適正に就業できる環境作りは優先度が高い事業である。 ・女性医師の就業問題は国全体で取り組み実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減に努めている。 ・受益者との負担関係は妥当である。 ・支出先は、全国規模でかつ女性の就業に関してノウハウのある事業者でなければならぬため、日本医師会で実施している。 ・事業目的に則したものにのみ支出を行っているため、合理的であり、かつ必要なものに限定されている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的に女性医師の就業に繋がる事業であり、実行性の高い手段となっている。 ・例年50人前後就業にいたった女性医師がおり、活動実績は適正である。 ・同様の事業が看護課で実施されているが、対象職種が異なっており、役割分担ができています。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 厚生労働省医政局看護課 中央ナースセンター事業	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>出産育児等により離職された女性医師が、再度職場復帰を希望するケースは増加しているが、仕事と家庭を両立するため、就業希望条件にあった医療機関を探すことは時間的に制限があるため、当該事業による就業相談・斡旋の支援は必要である。また、医療機関の病院長等に向けた講習会の開催は、女性医師の働きやすい職場環境の体制整備を行っていくうえで必要なものである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>女性医師支援センター事業については、女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図るための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	<p>執行状況・成果実績等を踏まえ、より効率的に事業を実施してまいりたい。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>○事業仕分け第1弾:事業番号2-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等(一部モデル事業)」 評価結果:予算要求の縮減(半額) とりまとめコメント:「要求どおり」は、0名である。その背景としては、昨日議論した診療報酬の見直しと組み合わせた形で本補助金を有効なものにするというのが、本WGの思いだと思える。したがって、このWGの判断としては、「予算半額」を結論としたい。今後の診療報酬見直しの経緯を見ながら、真に必要なならば平成22年度補正予算での対応もありえると思える。平成22年度当初予算についても、真に必要な事項に絞ることとし、支給する方法、内容、支給先についても厚生労働省の政務三役としっかり相談してもらいたい。</p> <p>○事業仕分け第3弾:事業番号A-9「医師確保、救急・周産期対策の補助金等」 評価結果:見直しを行う とりまとめコメント:診療報酬改定で対応可能な事業の廃止、医師不足対策への実効性が定かではない事業の廃止、不用額の確実な反映をさらにしっかりとやっていただきたいということが結論。医師確保、救急・周産期対策そのものについては大変重要であることは全員共通しているが、今の補助金の仕組みそのものが本当に効果的なやり方なのか、議論の中では包括的に支払うとか、必要なものについては補助率を高めるとかいろいろ議論があったので、減らす方向での対応をしっかりとやっていただくとともに、より使い勝手がよく、より効果的なやり方を今日の議論を踏まえて検討していただくということを結果に付随して申し上げ、全体として結論としたい。</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	76	平成23年行政事業レビュー	0063

厚生労働省
150百万円

[女性医師支援センター事業の実施の補助]



【補助】

A. (社)日本医師会
150百万円

[女性医師支援センター事業の実施]



【随意契約】

B. (株)キャノンITソリューションズ
20百万円

[女性医師バンクシステム保守料]

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. (社)日本医師会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	コーディネーター、アシスタント	50			
諸謝金	委員等謝金	27			
委託料	システム保守等	20			
旅費	委員等旅費	20			
借料及び損料	女性医師バンクシステムハードウェア借料、講習会会場借料等	18			
印刷製本費	テキスト製本費	11			
その他	消耗品費、通信運搬費等	4			
計		150	計		0
B. (株)キャノンITソリューションズ			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	女性医師バンクシステム保守、更新作業費用	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)日本医師会	女性医師支援センター事業の実施	150		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)キャノンITソリューションズ	女性医師バンクシステム保守、更新作業	20	随意契約	